

## 豚熱発生に備えた実践的な埋却計画の取組：岡山県高

梁家保 田中成枝、牧野俊英

令和6年2月に県内初の豚熱陽性のイノシシが確認され、同年12月現在、31例に増加。この状況下で豚熱発生に備えた埋却地確保は急務であることから、今回、実効性のある埋却計画を作成する為に豚農場の埋却予定地の試掘を実施。その結果、①条件を満たす埋却地確保の困難さ（埋却容量の確保、土質や湧水等）②埋却地までの通行ルートや運搬方法の確認不足③埋却時の人員や重機等の資材の算定不足④農場側の防疫に対する平時からの準備不足などの課題が判明。さらに、農場や関係機関との協力体制の構築や付近住民への理解の醸成が非常に重要であると再認識。この結果を踏まえ、平時から①埋却計画のブラッシュアップ②農場側の防疫に対する意識を高める指導や支援の積極的实施③関係機関との連携強化④埋却を実施した豚熱発生県との情報交換等を行うことで、より実践的な埋却計画の作成が必要。引き続き、発生時に備えた取り組みを継続していく。